

# あomorい法人 かわらばん

205号

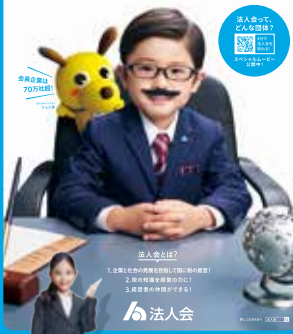
令和8年1月1日

年4回発行

(4.7.11.1月)

発行 公益社団法人 青森法人会 TEL 775-2580

青森市橋本二丁目13番5号 グランスクエア青森5階 創刊 昭和49年7月1日

URL <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>税に強い経営者が  
次世代を支える!

## 賀 春

令和八年 元旦

公益社団法人 青森法人会

会長 林 均

筆頭 今 良 暢

副会長 阿 部 吉 平

副会長 米 谷 恵 司

## 新年のご挨拶

会長 林 均

年頭に当たり謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年は、会員皆様のご協力により当会の事業が計画通りに進みましたことに感謝申し上げます。

振り返りますと、米価高騰により政府備蓄米の放出、大阪・関西万博開催、女性としては憲政史上初めての高市首相の就任、日経平均株価が初の5万円台に到達、各地でクマの出没・被害が多発、などのニュースがありました。

県内では、1月の豪雪、最低賃金が初の千円超（1,029円）、ホタテの大量死、熊の出没が過去最多、そして、12月8日、青森県東方沖で最大震度6強の地震が発生し八戸市が大きな被害を受けました。被災された皆様には一日も早く復旧されることをお祈りいたします。

税関連では、12月に令和8年度税制改正大綱が閣議決定されました。物価上昇

局面における基礎控除等の対応、住宅ローン控除の拡充、大胆な設備投資の促進に向けた税制措置の創設、研究開発税制の拡充、賃上げ促進税制の見直し、インボイス制度の経過措置の見直し、防衛特別所得税（仮称）の創設、このほか多岐にわたり今後国会で審議し3月に関連法案が成立します。

さて、当会では今年度の全法連表彰制度において、税法務の研修参加率「優秀賞」、会員増強「優秀賞」、福利厚生制度推進「単位会表彰」を受彰しました。税法務研修は法人会の事業の最たるものであり、また、会員増強、福利厚生制度の推進は各種事業の維持・発展のための重要な活動ですので、実績を挙げることでできたのは会員の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

年が明けて1月は市民図書館への図書寄贈と新春お楽しみ会の会の実施、2月に



八甲田 雪の回廊

は女性部会の設立30周年記念事業として青森市内全小学校に「児童に対する食育の推進」のための図書を寄贈いたします。4月で公益法人認定法が改正になり2年目となりますが、改正に係る手続きについて、行政庁および全法連の指示・指導に基づき的確に対応いたします。また、税制改正の内容については、税務当局と連携し税務知識の普及に努めます。

今年の干支である牛（うま）は古来から「俊敏さ・勢い・成長・活発」を象徴する存在とされており、午年は「動けば動くほど道が開く年」とも云われております。しっかりと手綱を引き締めて、会員企業の事業発展のお役に立てるよう事業に邁進して参りますので引き続きご支援・ご協力をお願い申し上げます。

結びに、会員皆様のご多幸と事業の健全な発展を祈念して年頭のご挨拶いたします。

## 「令和8年度税制改正 提言事項」の提言活動



令和7年11月17日(月)、青森市役所において、林会長、今筆頭副会長が、青森市長に対して「令和8年度税制改正提言事項」の提言活動を行った。

西 秀記市長との面談では、税・財政改革のあり方、経済活性化と中小企業対策、地方税のあり方、地方のあり方、租税教育の充実などに関する提言の内容を説明し意見交換を行った。



(※令和8年度税制改正提言事項の内容は全国法人会総連合のホームページに掲載)

## 「税を考える週間」関連行事

### ◆記念講演会

11月10日(月)、ホテル青森において、当会、青森青色申告会、青森間税会の会員78名が参加し、3団体共催による「税を考える週間」記念講演会を開催した。当会の今筆頭副会長が開会挨拶を行い、続いて、青森税務署の佐々木克寛署長が「税のよもやま話」と題して講演を行った。

佐々木署長は、税の役割、国の財政や税制の現状、税務行政の将来像、税務署の仕事、納税環境の整備、災害(震災等)への対応など多岐にわたる内容に加えて、ご自身の40年の職務経験を踏まえて、調査業務での事例紹介、税務大学校での研修指導、酒類業調整官としての業界を盛り上げる施策などを話してくれた。

また、講演終了後は、佐々木署長はじめ税務署幹部を交えて懇親会を行った。



### ◆優良経理担当者表彰

11月5日(水)、ホテル青森において、令和7年度優良経理担当者表彰式を開催した。会員企業から推薦のあった優良経理担当者5名および所属企業の役員4名が出席し、林会長から受賞者に表彰状と記念品を贈り、続いてご来賓の青森税務署の佐々木克寛署長からお祝いの言葉が述べられた。その後、意見交換および昼食会を行った。



受賞者は次のとおり。  
溝江 千秋 様  
(青森オフセット印刷株式会社)  
古川 郁子 様  
(株式会社青森電子計算センター)  
木下 一代 様  
(青森ケーブルテレビ株式会社)  
羽賀 真澄 様  
(東洋建物管理株式会社)  
鶴谷 優子 様  
(協同組合青森総合卸センター)

### ◆◆◆青年部会

青年部会(吉田 崇部会長)は、11月8日(土)、ラ・セラ東バイパスショッピングセンターにおいて第29回税金ウルトラクイズを開催した。

この事業は、青森税務署の協力、青森市教育委員会、青森市PTA連合会などの後援をいただき、小学生やその家族、一般の方に税への関心を持ってもらうために進めている。税の啓発活動である。5年生・6年生が2名でチームを組み、16チームが参加し、珍問や難問も交えた税に関する様々なクイズに学校の友達や家族、買い物客の応援を受けながら熱戦を



### ◆◆◆小学生税金ウルトラクイズ

繰り広げた。表彰式では吉田部会長から賞状と賞品の授与が行われ、最後に、青森税務署の佐々木克寛署長から講評・挨拶をいただき終了した。(結果は次の通り。」「内はチーム名)

- ◆優勝「てんま(筒井小・泉川小)
- ◆準優勝「ザ・ケイショウ(泉川小)
- ◆第3位「もみのり(三内小)
- ◆第4位「7レファミチキ(筒井小)
- ◆敗者復活賞「Switch」

また、会場で、「税の使途アンケート」を行ったところ、小学生の回答は「子どもの生活」「健康で生活するため」「災害予防・復興支援」「お年寄りの生活」、大人の回答は「子どもの学習」が多かった。





## 慶祝

### 国税庁長官納税表彰

会長 林 均 氏

(青森三菱電機機器販売株式会社  
代表取締役社長)

### 青森税務署長納税表彰

理事 大坂 功 氏

(株式会社大一通商  
代表取締役社長)

## セミナー開催

### 1. 青森総合卸センター税務研修会

11月11日(火)、問屋町会館において当会と協同組合青森総合卸センターの共催による税務研修会を開催した。テーマは「令和7年度税制改正を踏まえた年末調整のポイント」「キャッシュレス納付について」

で、基礎控除の見直し、各種申告書の作成、源泉所得税のダイレクタ納付の手続きなどを青森税務署の法人課税部門担当官が説明した。



### 2. 年末調整説明会

11月26日(水)、リンクステーションホール青森において開催した。昨年と比べて変わった点、年末調整の手続、年税額の計算のための準備、令和7年分年税

額の計算等について青森税務署の法人課税部門担当官が説明、説明会終了後は参加者からの個別質問に応じていた。

(参加者129名)



### 3. 新設法人説明会

12月3日(水)、リンクステーションホール青森において青森税務署との共催により開催した。各種届出書の提出、会社にかかる税金の種類、確定申告書の提出、中小法人の優遇制度、消費税など、会社経営に必要な基本的な税務知識、自主点検チェックシートの活用などについて、青森税務署の法人課税部門担当官が説明した。

(参加者9名)

### 4. 会社取引をめぐる税務

12月11日(木)、リンクステーションホール青森において開催した。

税理士の泉谷博之氏が、決算と申告の関係、収益の計上と原価の計算、資産にかかる税務、会社経費と税務、法人税等の税額計算の仕方などについて説明した。



(参加者29名)

## 女性部会

### 設立30周年記念式典・祝賀会開催

女性部会(田中桂子部会長)は、令和7年6月9日に設立30周年を迎え、12月

9日(火)、ホテル青森において記念式典・祝賀会を開催した。



記念式典は、田中部会長の挨拶のあと、青森税務署の佐々木克寛署長および親会の林 均会長からご祝辞をいただき、続いて、三戸幹事から記念事業(青森市内小学校に、児童に対する食育の推進のための書籍の寄贈)の発表、部会活動の功労者として、石岡桂子様、三上留里子様、永澤 暁様、小笠原若子様、田中部会長から記念品を贈呈した。

式典終了後の祝賀会では、澁谷副部会長の挨拶、青年部会の吉田 崇部会長による乾杯のご発声に続き祝宴を行った。また、余興のジャグリング、女性部会活動の10年間を振り返るスライド上映などを楽しみ、最後は、親会の今 良暢筆頭副会長からの閉会ご挨拶で締めくくった。

## 経理研究会

経理研究会(鳴海 満会長)は、次のとおり例会を開催した。

### ●第424回例会 10月21日(火)

テーマ 「生活習慣病の予防」  
講師 青森市保健所 健康づくり推進課 保険師 野宮 香純 氏

### ●第425回例会 11月18日(火)

テーマ 「リース税制について」  
講師 西村博税理士事務所 税理士 西村 博 氏

### ●第426回例会 12月16日(火)

テーマ 「イノベーションを加速する経営」  
講師 青森中央学院大学経営法学部 教授 小松原 聡 氏



青森法人会の事業の予定

青森市民図書館への図書贈呈式

令和 8 年 1 月 20 日 (火) 午前 11 時 45 分 (青森市役所)

新春お楽しみの会

令和 8 年 1 月 23 日 (金) 午後 5 時 30 分 (ホテル青森)

まねだ聖子 ものまねライブ

経理研究会・例会

令和 8 年 2 月 17 日 (火) 午前 11 時 (青森県食糧会館)

AED講習会

令和 8 年 2 月 26 日 (木) 午後 1 時 30 分 (リンクステーションホール青森)

ビジネスマナー講座

令和 8 年 3 月 6 日 (金) 午後 1 時 30 分 (リンクステーションホール青森)

第 51 回理事会

令和 8 年 3 月 10 日 (火) 午後 3 時 (ホテル青森)

決算法人説明会

令和 8 年 3 月 23 日 (月) 午後 1 時 30 分 (リンクステーションホール青森)

現在開催計画未定の事業が開催されることもありますので、  
それをめく詳しくはホームページをご覧ください  
アドレス : <http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>

広報紙では、当会の活動を紹介しています。  
研修会・講演会等には、会員以外の方も参加できます。  
事務局まで申し込みください。  
青森法人会事務局 電話 017-775-2580 FAX 017-773-5644

青森税務署からのお知らせ

国税に関するご質問・ご相談は  
国税庁ホームページで解決

① チャットボット (ふたば) に質問する

チャットボット (ふたば) では、次の方法で質問すると、  
AI (人工知能) を活用して自動で回答を表示します。

・ご質問したいことをメニューから選択  
・自由に文字で入力

② タックスアンサーを利用する

タックスアンサーでは、国税のよくある質問に対する一般的な  
回答を次の方法で調べることができます。

・自分に合った状況から探す (質問形式による検索)  
・キーワードによる検索  
・分野から探す  
・一覧から探す

国税庁ホームページで解決しない場合には、  
電話で解決 「電話相談センター」へつながります。

国税相談専用ダイヤルへ電話する  
0570 - 00 - 5901

受付時間 平日 8 : 30 ~ 17 : 00 (土日祝日及び 12 月 29 日 ~ 1 月 3 日を除く。)

会員の皆様へ

住所、代表者などの変更がありましたら、お手数ですが事務局へご連絡願います。

法人会会員のみなさまに

経営者大型総合保障制度

生命保険と損害保険の組み合わせにより、万一の  
場合はもちろん、働けなくなった場合のリスクに備え  
るための各種制度商品をご用意しています。  
さらに、2019 年 7 月から総合型 L タイプ α を新発  
売いたしましたので「保険金額」「保険期間」に加えて  
「保険料・解約払戻金のバランス」をオーダーメイドで  
設定いただけるようになりました。

広げよう  
企業保障の  
大きな傘を

〈会社をお守りするトータル保障プラン〉

おたくなりになる  
リスクに対する保険  
総合型 L タイプ α

重度の身体障がい  
状態による退職の  
リスクに対する保険  
T タイプ

重大疾病による  
長期離職の  
リスクに対する保険  
J タイプ

ケガ・病気による  
一時的な離職の  
リスクに対する保険  
一時金型 M タイプ

◎上記商品の正式名称は次のとおりです。  
総合型 L タイプ α : 大同生命の無配当歳満期定期保険 (解約払戻金抑制割合指定型) と  
AIG 損保のベシック傷害保険  
T タイプ : 大同生命の無配当就業障がい保障保険 (身体障がい者手帳連動・無解約払戻金型)  
J タイプ : 大同生命の無配当重大疾病保障保険 (無解約払戻金型)  
一時金型 M タイプ : 大同生命の無配当入院一時金保険 (無解約払戻金型)  
◎ご検討・ご契約にあたっては、「法人向け保険商品のご検討に際してご留意いただきたいこと」「設計書 [契約概要]」  
「注意喚起情報」「ご契約のしおり」「約款」を必ずご覧ください。  
◎記載は 2023 年 6 月現在の内容です。将来変更となる可能性があります。

引受保険会社  
DAIDO 大同生命保険株式会社  
きた東北支社 / 青森県青森市奥野 1-11-10  
(青森店舗 1F)  
TEL 017-735-7030  
AIG AIG 損害保険株式会社  
八戸支店 / 青森県八戸市三日町 2  
(明治安田生命八戸ビル 4F)  
TEL 0178-24-1271

F2023-0005 (2023 年 6 月 16 日)  
23-073010\_2023-05

法人会会員企業にお勤めの方は、  
おひとり様からでも集团扱の  
割安な保険料でご契約いただけます。

がん保険の枠を超え、  
一人ひとりに最適な安心を

保障と相談サポートで  
あなたによりそう  
がん保険  
ミライト

「生きる」を創る。  
Aflac アフラック

青森支社 〒030-0802 青森県青森市本町 1-2-15 ユニバース青森ビル  
法人会用フリーダイヤル 0120-876-505  
※今後の対応は担当の募集代理店が行います。

資料請求はお気軽にどうぞ!  
アフラック 法人会 検索

No.1 アフラック  
がん保険  
契約件数  
各社の統合報告書などに基づくアフラック調べ (2024 年 3 月時点)

AFアツ課-2024-0542-2512005 12月26日



新会員を  
募集中です!

経営に差がつく

税の知識が身につく

人脈が広がる



# お知り合いの経営者をご紹介ください!

法人会は昭和21年、戦後の混乱期の中で、税についてきちんと理解し、適切な納税が行われるよう立ち上げた団体です。

現在、41都道府県に440の会、約70万の会員を擁し、「税のオピニオンリーダーとして、企業の発展を支援し、地域の振興に寄与し、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体」として活動しております。

私たち青森法人会は、昭和25年に設立し、昭和51年に社団法人の認可を受け、平成24年に公益社団法人に移行しました。

現在、青森市、東津軽郡において、約880の法人、個人事業主にご加入いただいております。税の普及・啓発、税制改正に関する提言、地域企業と地域社会の健全な発展に貢献する事業などを行っています。

法人会にはいろいろな業種の様々な規模の会社にご加入いただいております。交流を深める場を提供しておりますので、活動に参加することにより多くの経営者の方と親しくお付き合いし、ご自分の会社経営に役立ててすることができます。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.aomori-hojinkai.or.jp/aomori/>



## 税の活動

- ・税務研修会（決算法人説明会、新設法人説明会、その他税をテーマとするセミナー等）
- ・租税教育活動（租税教室、税に関する絵はがきコンクール、税金ウルトラクイズ等）
- ・税制改正提言活動（青森市、青森県への提言活動）
- ・税務参考資料の提供

## 経営支援

- ・各種研修会（経営、労務、ビジネスマナー等）
- ・著名な講師による講演会（定時総会記念講演等）
- ・インターネットセミナー（人材育成・経営・法律・危機管理等）
- ・貸倒保障制度

## 会員支援・親睦

- ・定時総会会員交流親睦会、新春交歓会等の異業種交流会
- ・青年部会（若手経営者）や女性部会（女性経営者）の自己研鑽・交流活動（懇親会・ゴルフ大会等）

- ・広報紙（かわらばん）による情報提供
- ・会員企業在籍優良経理担当者への表彰

## 税務当局との連携

- ・企業の税務コンプライアンス向上のための「自主点検チェックシート」の推奨
- ・税を考える週間記念「税務署長講演会」の開催
- ・税務手続のデジタル化の普及

## 福利厚生

～提携保険会社による福利厚生制度～

- ・経営者大型総合保障制度  
＜大同生命保険㈱、A I G損害保険㈱＞
- ・ビジネスガード ＜A I G損害保険㈱＞
- ・がん保険、医療保険  
＜アフラック生命保険㈱＞

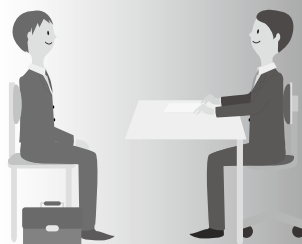
## 地域社会貢献活動

- ・公共団体への物品の寄贈
- ・A E Dの周知活動・救急救命講習会
- ・新春お楽しみの会



# 「採用担当者の コミュニケーション力」を強化しよう

株式会社ジェイック 近藤浩充



新卒・中途を問わず、企業間で人材獲得競争が激化しています。このような環境下で、労働条件などを容易に引き上げられない中小企業が採用活動を成功させるためには、「採用担当者のコミュニケーション力」を強化することが重要です。

キャリアアチェンジを望む人が増えていきます。応募者のキャリアビジョンに合った自社の魅力を提供することが、採用成功にとって重要な要素となっているのです。

そこで今回は、採用担当者のコミュニケーション力を高める実践的なポイントを2つ紹介します。

採用担当者のコミュニケーション力とは、応募者の「やりたい仕事」や「成し遂げたい成長」が自社でかなえられるということ、応募者に強く納得してもらえる力を指します。当社が2025年卒業予定の学生に実施した調査では、「内定承諾の決め手」として、「やりたい仕事ができる」「成長できる環境が整っている」といった項目が上位に挙がりました。中途採用でも、人生100年時代を見据え、未経験の業種や職種への

1つ目は、「応募者のニーズに合致する自社の魅力」を正確に把握することです。比較対象となる企業が複数ある状況で、応募者に自社に対する志望度を高めてもらうには、応募者がやりたい仕事などのニーズに対し、「競合他社よりも優れている自社の魅力」を把握し、採用面接で伝えていく必要があります。具体的には、履歴書などから応募者のニーズが「営業職

でマネジメント経験を積みみたい」と把握できている場合、そのニーズに対応する形で「自社の魅力」を検討します。大手企業に比べ、マネジメント職に就けるまでのスピードが速いことや、実際にそのキャリアを実現している社員の事例を挙げておくといでしょう。

2つ目は、採用面接などの場面で、応募者とのコミュニケーションにおいて「相手の最大の関心事をつかみ取るヒアリング＋称賛」というアプローチをとることです。最初から自社の魅力を伝えるのではなく、まずは相手に誠実に関心を寄せ、応募者のニーズの背景にある価値観やキャリア観を聴き、称賛の言葉を重ねます。応募者の価値観に称賛の言葉をかけることで、採用担当者への信頼感が高ま

り、自社への志望度も一段と高めてもらうことができます。

例えば「営業職でマネジメント経験を積みたい」というニーズには、なぜ応募者がそのような思いを持つにいたったかを丁寧に聴きます。その上で、「前職でチームリーダーの意思決定の重要性を感じられたのですね。それをご自身の次のキャリアに生かそうとされているところが素晴らしいです」といった形で、

称賛の言葉を投げかけていくとよいでしょう。この後に、事前に把握した自社の魅力を伝えるとより応募者の信頼感が向上します。

相手に誠実な関心を寄せて信頼感を高め、「次の選考に進みたい」という行動をうながす関わり方を自然体で行うことが重要です。採用成功のために、これらのポイントを意識して実践してみてください。

【筆者紹介】近藤浩充（こんどう・ひろみつ）

獨協大学卒業後、情報システム系の会社を経て株式会社ジェイックに入社。全社経営戦略、教育事業、採用・就職支援事業の責任者を経て取締役兼常務執行役員教育事業部長。企業の採用・育成課題を知る立場から、企業向け教育研修プログラムを監修するほか、一般企業、金融機関、経営者クラブなどで、社員育成の手法やキャリア形成等についての講演を行っている。